

国労80周年レセプション 運動を発展させるための 新たなスタートだ



国労結成80周年記念レセプション 国鉄労働組合 岡山地方本部 2026年3月28日 於 サンピーチOKAYAMA

岡山地方本部は3月28日、サンピーチ岡山にて「国労結成80周年記念レセプション」を開催した。

勝田副委員長の司会でレセプションを進めていき、開会の挨拶を小林教宣部長が行い、主催者を代表して小林



委員長が挨拶をした。小林委員長の挨拶は皆の心を感動させた。1946年2月に石川県片山津で国鉄労働組合総連合が結成された歴史に触れ、翌1947年6月の伊豆長岡大会で「一切の封建的桎梏を打破し、平和日本の建設に邁進する」と宣言したことを紹介。

「それ以来、私たち国労は単一労働運動として、さまざまな苦難を乗り越えて今日に至った」と振り返った。

特に強調されたのは、1950年に現名称となった岡山地方本部の80年間の闘いだ。

1949年の定員法・レッドパージ反対闘争を皮切りに、春闘、首切り反対、三池争議、安保闘争、ベトナム反戦運動、反マル生闘争、スト権奪還闘争など、戦後日本の労働運動の主要な局面で常に先頭に立ってきた軌跡を詳しく語った。

中でも最も激しく、痛ましい闘いとして挙げられたのは、1987年の国鉄分割・民営化反対闘争だった。当時の政府・資本が一体となった「ヤミ・カラ」キャンペーンやマスコミによる徹底した攻撃、職場規律の確立により、多くの仲間が国労を離れ、1047名のJR不採用（解雇）者が出た。

この過程で100名を超える組合員が自ら命を絶つという壮絶な現実にも触れ、「この苦難は筆舌に尽くしがたい。

国鉄労働者の尊厳をめぐる国家的な攻撃だった」と、参加者の胸を締め付けた。

それでも組織は屈することなく、2010年頃から「人間の尊厳」を掲げて活動を続けてきたと指摘。現在の厳しい労働運動状況についても、「平和なくして労働組合なし」と言われるほど組織率が低下し、約16%にとどまっている現状を率直に認めつつ、「この逆境こそが、私たちに課せられた課題だ」と述べた。

挨拶の締めくくりで、「次世代を担う仲間には、歴史の中で得た成果と教訓を胸に刻んでほしい」と呼びかけ、公共交通の安全確保、ローカル線を守る闘い、「ただちに戦争をやめよ」という平和の声を広げることが、運動の二本柱として明確に位置づけた。

「岡山地方本部は解散するが、私たちの闘いの精神は中国地方本部として確実に継承・発展させる。すべての仲間の力で、労働運動の再生と平和・民主主義の擁護に全力で取り



④ 岡山市議会議員
・ 鬼木 のぞみ様



③ 新社会党岡山県本部書記長
・ 川上 幸治様



② 日本共産党岡山県委員会
岡山県議会議員
・ 森脇 久紀様



① 社会民主党岡山県連合代表
・ 宮田 好夫様

組もう」と力強く述べ、会場は大きな拍手に包まれた。

・ 来賓あいさつ

⑤ 岡山県議会議員
・大塚 愛様



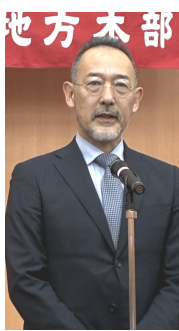
⑥ パブリック法律事務所弁護士
・水谷 賢様



⑦ 福塩線をよくする会代表
・福山市議会議員
・池上 文夫様



⑧ 岡山県労働組合会議副議長
・村田 秀石様



⑨ 国労西日本本部執行副委員長
・藤野 能章様



来賓あいさつ後、岡山地方本部からの報告を青山書記長が行った。



元地方本部書記長、竹原正樹様による乾杯の挨拶が行われた。



会場に配布されたパンフレットには、80年の歴史年表や被災地支援、早期復興を求める行動などの活動写真が多数掲載され、参加者らは写真を眺めながら当時の思い出を語り合った。



歓談の途中で男声合唱団「ぼっけー」による素晴らしい熱唱が行われ心震わせた。レセプションも終盤になって来た所で歴代役員・家族会の挨拶が行われた。

① 元地方本部副委員長、書記長
・中浜 英昭様



② 元地方本部副委員長
・三宅 明様



③ 元地方本部書記長
・片岡 公夫様



④ 元地方本部副委員長、書記長
・山本 真也様



⑤ 元地方本部委員長、書記長
・天野 伸行様



⑥ 元国労家族会会長
・松本 治美様



各役員による挨拶が行われ、最後に国鉄労働歌を男声合唱団「ぼっけー」と全員で円になり合唱を行った。

閉会の挨拶は藤江組織部長が行い勝田副委員長による団結ガンバリにより締めくくった。



岡山地方本部は、第88回解散大会をもってその歴史的使命を終えた。

しかし、80年にわたる「闘いの伝統」を胸に、新たな中国地方本部として再出発する。公共交通を守り、働く者の権利と平和を求める運動は、今後も全国の仲間とともに続けられていく。

参加した組合員や来賓、支援者、歴代役員は、戦後労働運動の激動の軌跡を振り返りながら、解散と新たに結成する「中国地方本部」体制での決意に強く意思を固めた。

岡山地方本部は3月28日、第88回岡山地方本部解散大会を開き、長年にわたる地域組織としての活動に幕を下ろした。

小林委員長は「先輩たちが血と汗で築き上げてきた岡山地方本部を解散させることは断腸の思いだが、これは後退ではなく、運動をより強く発展させるための新たなスタートだ」と述べて歴史に幕を引いた。

4月4日には中国地方本部結成大会が開催され4月11日には岡山地区本部結成大会を開催し新たなスタートが開始した。

- 岡山地区本部新役員
- 執行委員長・小林 靖浩
- 執行副委員長・勝田 哲也
- 書記長・青山 准三
- 執行委員・小林裕二郎
- 執行委員・藤江 一成
- 会計監査・岡本 岩夫
- 会計監査・酒井 正弘
- 書記・古賀 由恵